



羅臼町議会だより



しれとこ

第3回定例議会	2~3
一般質問	4~6
ズームアップ	7
委員会サロン	8~9

平成24年

第**135**号

10月25日

写真提供 民宿 鷺の宿

平成24年 第3回定例議会

9月13日、第3回定例議会が行われ、専決処分、一般会計等の補正予算、健全化判断比率、資金不足比率の報告、条例制定、人事案件、決算特別委員会の設置、意見書等、すべて原案通り可決した。

(千円単位は四捨五入)

1. 平成24年度一般会計補正予算

合計 2,511万円

総務費	その他一般行政に要する経費	97万円
	その他自治振興に要する経費	25万円
	賦課徴収事務に要する経費	76万円
	統計調査に要する経費	27万円
民生費	デイサービス利用者宿泊ニーズ調査事業に要する経費	12万円
	特別会計繰出金に要する経費	17万円
衛生費	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	26万円
	特別会計繰出金に要する経費	130万円
	その他清掃業務に要する経費	1,562万円
農林水産業費	北方領土隣接地域振興等事業に要する経費	300万円
	漁港等管理に要する経費	50万円
教育費	郷土資料館に要する経費	980万円
	給食供給に要する経費	△341万円
	給食センター管理運営に要する経費	△451万円

補正後の一般会計総額

35億4,590万円

2. 平成24年度羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

合計 6,655万円

総務費	その他国保一般事務に要する経費	5,279万円
共同事業拠出金	高額医療費共同事業医療費拠出金	1,239万円
	保険財政共同安定化事業拠出金	137万円

3. 平成24年度羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

合計 2,106万円

総務費	介護保険業務に要する経費	1,817万円
保険給付費	居宅介護福祉用具購入に要する経費	43万円
	居宅介護住宅改修に要する経費	92万円
諸支出金	国庫負担金等返還金	154万円

4. 平成24年度羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

合計 130万円

総務費	医療再生に要する経費	130万円
-----	------------	-------

5. 専決処分 (一般会計)

民生費	各種福祉館管理に要する経費	44万円
民生費	行旅死亡人に要する経費	5万円

平成23年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率の報告

〈平成23年度決算に基づく健全化判断比率〉

(単位：％)

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成23年度決算	—	—	12.8	65.6
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

〈平成23年度決算に基づく資金不足比率〉

(単位：％)

特別会計の名称	資金不足比率	備 考
水道事業会計	—	
経営健全化基準	20.0	

条例制定

- ・ 羅臼町暴力団排除条例の制定について
- ・ 羅臼町防災会議条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町災害対策本部条例の一部を改正する条例制定について

工事請負契約の一部変更について

- ・ 国保診療所建設工事金額 5億1,030万円→変更後 5億3,138.4万円

公有水面の埋立てについて

- ・ 羅臼町共栄町442番地先の公有水面11,156㎡（漁港施設用地）

指定管理者

指定管理者の管理を行わせる公の施設の名称及び所在地

- (1) 名 称 羅臼町老人福祉センター
- (2) 所 在 地 羅臼町湯ノ沢町14番地3

指定管理者

- (1) 名 称 特定非営利活動法人 ゆとりステーション
- (2) 代 表 者 理事 田 中 良
- (3) 所 在 地 羅臼町春日町46番地3

指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで

意見書

- (1) 地方財政の充実・強化を求める意見書
- (2) 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書
- (3) コケイン症候群を国の特定疾患治療研究事業対象疾患と小児慢性特定疾患に（難病指定）を求める意見書
- (4) ロシア首相「北方領土訪問」への抗議と日本政府の強力な外交交渉を求める決議

人事案件

羅臼町教育委員会の委員任命について

任期：平成24年10月1日から平成28年9月30日まで

石川 勝 氏（66才）羅臼町峯浜町172番地2

池田 栄壽 氏（63才）羅臼町共栄町420番地

人権擁護委員の推薦について

任期：平成25年1月1日から平成27年12月31日まで

山中 伸行 氏（57才）羅臼町栄町127番地

田中 進 氏（60才）羅臼町知昭町12番地

質 問

3議員による7件の質問
が提出され、町長・教育
長の考えを問いました。

職員出張旅費の 問題について

高島 讓二議員



八月二十
六日付、北
海道新聞に
「出張旅費

をもらいながら助成を受け
共済組合のホテルに宿泊の
場合、公費の二重取りがあっ
たのではないかと掲載さ
れていた問題で、当町にも
当てはまるケースがあるな
らば問題であり、早急に改
善しなければなりません。
そこで質問は、平成二十三
年度の共済組合への助成金
の金額について。札幌出張
の人数と回数について。

公務出張で共済組合直営
ホテル「ポールスター札幌」
を利用した職員数は把握さ
れているのかお聞きします。
また規則では公務出張の
場合、宿泊費として一泊一
万円の設定を施行してい
ます。しかし道内ビジネス
ホテルの宿泊料は概ね五
六千円であり、定額制だと

余剰が出ます。

したがって税金を一元で
も無駄にしないため、また
経費節減のためにも定額の
宿泊費を廃止して上限を設
定した領収書と引き換えに
よる実費制に切り替えるべ
きと提言します。

町長

利用者が十三名あった

平成二十三年年度の共済組
合事業には、総額約一億五
四万円を町負担金として
支出している。

内訳は年金給付に七、一
八八万六千円、介護保険二
四五万二千円、児童手当一
〇一万三千円、事務費負担
金十七万円、職員・家族の
病気・怪我・出産・死亡・
災害に対する短期給付事業
三、〇〇一万八千円。この
短期給付事業のうち一〇八
万七千円が福祉事業分であ
り宿泊費の利用助成が含ま
れています。
平成二十三年年度の札幌へ
の公務出張は、五十八名で

一〇五回あり、ホテル利用
者は十三名あった。

実費制にすべきとの提言
は、現在、バック旅費を導
入しており、旅費の節減に
つながっている。

実費制は事務量が増え煩
雑が懸念されるので現在は
考えていないが、今後パッ
ク旅費以外のケースが増え
る事があれば、実費制も含
め検討する。

共済組合直営ホテルの利
用の場合は、公費負担分を
減じて宿泊費を支出するよ
う指示した。

観光産業振興の具 体的施策は何か

高島 讓二議員

四月からの観光客の入込
数は一昨年と比べ約五万八
千人減となっております。

しかしながら観光船によ
るホエールウォッチングは
好調であります。観光船、
観光協会は六年前から一生
懸命発信し、今につながっ
た成果であろうと確信しま

す。
第六期総合計画は、今年
で五年目を迎え、世界自然
遺産を活用した経済領域の
拡大として滞在型観光のメ
ニューの検討、整備が求め
られています。具体策は
何かをお聞きします。

町長

道内外の学習旅行 の誘致活動を行う

昨年八月に学習旅行等の
交流人口をオール羅臼で受
け入れるべく「知床羅臼町
体験学習推進協議会」を設
立しました。本町の各団体
は積極的に参画し「もてな
しの心」を持った受け入れ
をしていただき、概ね好評
を得ている。

この事は、学習旅行のみ
ならず一般観光客に対して
も浸透していくと思います。
今後は観光客がリーダー
として毎年来て頂けるよう
体験メニューと受入体制を
更に構築したい。



緑町公営住宅

平成24年9月定例議会

一

般

災害時の弱者対策として福祉避難所の設置を

坂本 志郎議員



災害発生後、一定期間避難生活を強いられ

ますが、乳幼児・妊婦・高齢者・障がい者などの弱者を守るために福祉避難所が必要とされています。防災ハザードブックの中には、福祉避難所として位置づけられた避難所はありません。湯ノ沢町の老人福祉センター及び幌萌町の農林漁業体験実習館を災害時弱者対応の福祉避難所として整備活用してはどうか。

町長

検討しなければなら
ないと認識している

山や高台への避難
路の整備を

坂本 志郎議員

津波災害緊急時には、ともかく高台へ避難しなければならぬが、地域によ

ては避難路が未整備であり階段もありません。

各町内会ごとに必要と思われる避難路、階段の設置などの整備について行政として調査すべきではないか。

町長

行政として町内会
へ呼び掛けていく

地域ごとの標高(海面
からの高さ)表示を

坂本 志郎議員

住民にとって自分の自宅周辺が海面から何メートルの高さ(標高)に位置しているかを知る事は非常に重要です。津波の防災意識の啓発にも有効です。釧根管内の海岸線を有する自治体でこの標高表示が未整備なのは、羅臼町だけかも知れません。

町長

開発局とも調整し
て標高表示を計画
していきたい

町営住宅の老朽化対策・住環境改善を早急に実施へ

坂本 志郎議員

羅臼町には現在、二七〇戸の町営住宅があり、二三三戸が入居・三十七戸が空いています。

二七〇戸中、トイレ水洗化率は十六％で四十二戸のみ、浴室なしが一二戸で四十一・四％、約半数が風呂なしです。

建築年で見ると、礼文町には比較的新しい住宅はありますが、昭和三十年代に建てられた住宅三十戸など全体として老朽化が進行しています。

町営住宅の供給は国の「公営住宅法」に基づいて行われますが、法第一条にこう書かれています。

「公営住宅は、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困っている低額所得者に対し安い家賃で賃貸する」

羅臼町の町営住宅は全体として老朽化しており、居住環境も低下、更には入居

者の高齢化も進んでいます。早急に高齢者対応も視点に入れた建替え、リフォームなど計画すべきである。

町長

公営住宅等長寿命化計画
と住生活基本計画を平成
二十五年に策定する

町営住宅の住環境の水準については、耐震基準を有している戸数一〇六戸三十九％、居住スペース一戸当たり四十㎡を超すもの一八三戸六十七％、バリアフリー対応〇、水洗化四十二戸十五％、浴室有り一五八戸五十八％です。老朽化の状況は耐用年数を経過している住宅二八戸で全体の四十七％、水洗や浴室も無い老朽化が著しい団地もあると認識しています。

今後、団地別・住棟別に修繕・改善・建替えなどの活用方法を定め計画化を図ります。

坂本議員その他の質問

○低所得者の介護保険料減免について

観光地として、環境整備と観光客誘致の提言!!

高村 和史議員



①北方領土問題の教育・啓発・観光を通

じた教育として、先に就航した、ビザなし交流船「えとぴりか」号を「北対協」と、タイアップして、北方領土の関係資料を展示している啓発施設ともリンクして「えとぴりか」を利用した、啓発



知床峠から見た羅臼岳

観光等を、北方領土隣接地域の事業として、根室⇄羅臼の不定期でも、運出出来る様、羅臼町から発信できないものか

②観光スポットの紹介をしている「シーニックバイウェイ北海道」という取り組みがあります。これは、地域に暮らす人や企業が主体となり、企業や行政が手を組み、個性的で活力ある又魅力ある観光の地域作りを目指す取り組みです。地域をただ通過するだけではなく、通過地点の周辺地の情報もきちんと提供し、そこに足を運んでもらうという活動です。当町もこの「シーニックバイウェイ」に加えてもらおう取組みも検討して頂きたい。

③当町は今、基盤産業である水産が、大変な局面を迎えており、現状の厳しさは、年を追うごとに痛感しており、漁業者、関連する職種の方々が経営が困難になり、断腸の思

いで廃業を決断しなければならぬ不測の事態が生じております。私は廃業し、職場を失った方に、町として観光事業等に職を求めて頂く様な政策を是非打ち出して頂く様又展開によっては、町外流出の歯止めともなり、町財政の好転にも結び付くのではないかと思います。考え方を示して下さい。

④当町は観光地にふさわしい、トイレ・外灯・案内板等、又観光客受け入れの態勢が充分とは言えない。我が町の取り組み、又所轄する、道や国の機関へ働きかけをする事が、環境整備の急務と考える。

⑤世界自然遺産、知床国立公園等の管理、又は環境整備を含めた、世界自然遺産特区の申請を提言します。特区可能になれば、いろいろな懸案事項も変更可能と聞いている。又支援策もあると思います。考え方を示して下さい。

町長

美しい景観、魅力ある観光空間づくりの推進

①新造船「えとぴりか」は、あくまでも主たる目的が「ビザなし交流」や「自由訪問」等であり、年間二十五回前後の運航状況にあり、実際に活用できる期間は限られていると考えておりますが、北方領土学習を通じた学習旅行の誘致や各関係団体を視察等の際に「えとぴりか」を活用する事は有効な手段であると考えています。今後は根室⇄羅臼間の運



ビザなし交流船「えとぴりか」

航の可能性も含め、北隣協と協議を進めてまいりたいと考えています。

②近隣の今後の推移を見ながら、当面は当町で現在行われている道路清掃活動、魅力ある観光空間づくりを推進していく。又国道整備を見ながら「シーニックバイウェイ」の取り組みも検討したい。

③我が町の人口減少を踏まえながら、観光交流人口を増やす取組みとして、旅行会社、航空会社等含めた協議会が出来ていきます。協議会等を活用した中で我が町の観光振興を、進めていきたい。

④全般的な観光施設の整備の中で考えていきたい。

⑤特区の考え方として、行政間・斜里町・環境省・林野庁等、知床自然遺産協議会で、話題として提供したい。

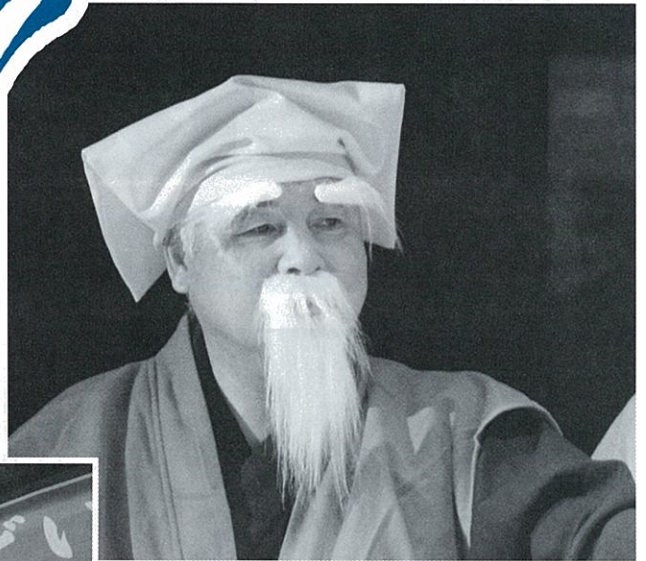
高村議員その他の質問

○役場職員の身分や定数、給与について

ズームアップ

羅臼町敬老会・高齢者のつどい

議員及び町長・副町長・教育長
参加による寸劇「水戸黄門」
はじまり～はじまり～



去る、九月八日(土)、羅臼町公民館において、羅臼町在住の七十五歳以上の方を対象に羅臼町敬老会・高齢者のつどいが開催されました。
午前十時より式典が約三十分間行われ、参加出席者は二二〇名、うち米寿対象者は十一名出席し、社会福祉協議会より、記念品が贈呈されました。
米寿対象者は全部で四十二名の皆さんに記念品が贈呈されました。



その後、余興が行われ、休憩をはさみ、礼文町北町内会、十七名による踊り「八木節」や、様々に趣向を凝らしたカラオケや、唄、踊り、素晴らしい民謡など、合計十一のプログラムが披露され、その中で我々は、町長・副町長・教育長と共にオリジナルの寸劇、「水戸黄門」を披露しました。高村監督のもと、キャスト・スタッフ全員で頑張り、楽しい時間を高齢者の方々と過ごす事ができました。

政 視 察

総務民生常任委員会

平成二十四年八月八日、国民健康保険診療所・福寿園・ちゅうりっぷ保育園・町営住宅（老朽住宅）を視察しました。

●知床らうす国民健康保険診療所

七月二日に開設した診療所が一ヶ月経過したので、現状を職員から説明を受けました。現在受け付けから診療終了まで時間がかかる事からこの改善に努める事とスタッフの充実と医師の確保に努めている。十月からは常勤医一名が勤務出来る予定でいる。今後の改善を期待している。



知床らうす国民健康保険診療所

●福寿園

平成四年に開所以来、多くの町民に利用されて来ました。現在施設の温泉暖房等の設備の老朽化により、改修の時期が訪れるであろうと思われる。来年四月から民間に管理委託をする事となりました。両者で十分協議をしながら改善を行ってほしい。



福寿園

●ちゅうりっぷ保育園

民間が運営する二十四時間保育園であり、〇歳児から十二歳児まで預ける事が出来ると言う事は、利用者にとっては大変有難い施設である。民間の経営の創意工夫で頑張ってもらいたい。



ちゅうりっぷ保育園

●町営住宅（老朽住宅）

栄町高台にある住宅を見せてもらい、次に緑町の住宅、最後に麻布町の住宅を視察しました。緑町の住宅は昭和三十年代、栄町高台の住宅・麻布町の住宅は昭和四十年代に建設され、築四十年以上経過している物件である。居住空間としては最低条件をいずれもクリアしてはいないと思われる。早急に改善計画を策定しなければならぬ。



町営公住

町内行

経済文教常任委員会

平成二十四年七月十三日、羅臼町立羅臼小学校給食センターと羅臼町立羅臼小学校の二ヶ所を視察しました。

●羅臼町立羅臼小学校

羅臼町における学校給食

は、昭和四十七年一月より行なわれており、現在の施設（栄町）は、平成四年より使われている。

施設自体の老朽化はもとより、調理器具などの設備は二十年以上も経っているものも多く、早急な入れ替えが必要なものもあった。しかしながら、大型の器具などは、高額になるため空調設備などの整備も含めて数年をかけた整備計画を立てる必要があるとのことであった。

給食センターは大切な子供たちの食と健康を形成する重要な施設であるため、衛生関係については、万全の注意を図るよう要請を行うとともに職員や従事者の安全安心への取り組みや意識レベルを高く持つてもらうよう併せて要請した。

●羅臼町立羅臼小学校

昨年度まで配送は、外部

への委託で行なっていたが今年度より職員を配置して町営で行っているとのことであったが、ほとんど一人で四校への配送（配達と収配）を行うため一度に運べる配送車の用意が必要となっている。

現在、羅臼町全体で五七〇食を作っているが、職員や従事者の不足、設備の老朽化、安心安全への対応など今後の課題も多く、委員会としても問題解決に努力しなければならぬと、視察を通じ感じてきました。



給食センターでの視察

●羅臼町立羅臼小学校

羅臼町立羅臼小学校は、

平成六年に新校舎として生まれかわってから十八年経っている。

今回の視察では、建設当初より設置されている温泉暖房によるボイラーの状況と、現在設備で困っている箇所を視察してきました。

ボイラー設備の耐用年数は十八年とのことなので、急な故障にすばやく対応できるのか、また代替設備はどうなっているのかお聞きしました。

緊急時、特に冬場に故障があった場合、子供達に寒い思いをさせないように早急な対応のできる体制づくりを要請しました。

他に校舎とグラウンドを繋ぐ渡り廊下の雨漏りや屋上のひび割れの状況も視察し、改善措置をとるよう要望しました。

●羅臼町立羅臼小学校

学校の裏がいつも水溜りになっていたりことや使用しなくなったまま残っている遊具の現状も視察してきました。

今後、経済文教常任委員会としても、さまざまな問題に対し、積極的に対応してまいりたいと考えております。



羅臼小学校ボイラー室にて

議会の動き

7月

- 22日～25日 根室地方総合開発期成会要望行動
(札幌市・東京都) 議長
25日 釧根林活連絡会議総会(釧路市) 2名
26日 議会改革推進特別委員会

8月

- 8日 総務民生常任委員会町内行政視察
議会だより編集特別委員会
魚魂祭 議長
15日 羅臼町忠魂碑護持奉賛会・第12回慰霊祭 議長
20～21日 二次医療圏見直し要請活動(札幌市) 議長
24日 標津町・羅臼町両町自衛隊協力会共催
「転入自衛隊員歓迎会」(標津町) 議長
27日 議会改革推進特別委員会

9月

- 1日～2日 平成24年度故郷札幌らうす会総会
(札幌市) 議長
5日 議会運営委員会
6日 第64回北海道消防大会歓迎交流会(中標津町) 議長
7日 第64回北海道消防大会(中標津町) 議長
8日 平成24年度敬老会・第6回高齢者の集い 全員
10日 経済文教常任委員会視察
11日 総務民生常任委員会視察
12日 議会運営委員会
13日 全員協議会
第3回定例町議会
15日 第41回漁火まつり開会式 議長
18日 議会改革推進特別委員会
22日 新町立別海病院開設セレモニー・落成記念式典
(別海町) 議長
29日 平成24年度根室町村議会議長会主催議員研修会
(中標津町)
30日 陸上自衛隊別海駐屯地創立47周年記念行事
(別海町) 議長

10月

- 2日・9日 議会だより編集特別委員会

付託案件

平成23年度羅臼町各会計決算認定

◆ 羅臼町各会計決算特別委員会 ◆



委員 湊屋 稔	委員 坂本 志郎	副委員長 田中 良	委員長 高島 讓二
---------------	----------------	-----------------	-----------------

根室町村議会議長会主催

議員研修会

9月29日、中標津町において根室町村議会議長会主催による議員研修会が行われました。講師は台北駐日経済文化代表處札幌分處々長徐瑞湖氏による「台湾と北海道の交流」について、ひがし北海道観光事業開発協議会事務局長、野竹鉄蔵氏による「着地型観光から考えるインバウンド誘客・国内誘客～根室管内地域の現状から」と題し、地域の観光戦略を含め現状の状況を講演して頂いた。



診療所の建設も十一月中旬に全て完成の予定です。決算特別委員会も設置され昨年度の各会計について審議し、平成二十五年度の予算に反映される事とします。議会だよりについて、ご意見等ございましたら、御連絡頂ければ幸いです。

高島 讓二

編集を終えて

